



米国 Gogo 社への スカパーJSAT 衛星 JCSAT-5A、JCSAT-14 の帯域提供について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、Gogo（本社：米国イリノイ州シカゴ、President & CEO: Michael Small、以下Gogo）が提供する日本上空での航空機内インターネットサービスにおいて、スカパーJSATの衛星帯域をご利用頂くことが決定いたしましたので、お知らせいたします。

スカパーJSATの衛星帯域をご利用いただくこととなったGogoは、航空機内インターネットサービスプロバイダーのリーディングカンパニーであり、日本航空株式会社（以下、JAL）や多くの航空会社に対し、これまでも航空機内インターネットサービスを提供しております。

今回、Gogoは、より快適な航空機内インターネットサービスを提供する事を目的に、スカパーJSATが保有するパフォーマンスに優れた「JCSAT-5A」をご利用頂くことになりました。これに伴い、Gogoは、JALの全国内線に対し15分間のフリーWi-Fiサービスを提供致しております。

さらに、Gogoは、2016年5月6日に打ち上げが成功したスカパーJSATの新衛星「JCSAT-14」*のご利用についても決定をいただいております。これにより、「JCSAT-14」がカバーする太平洋域内において、Gogoがサービスを提供する航空機で機内インターネットサービスをご利用いただけることになる予定です。

スカパーJSATは、今後も拡大する移動体ビジネスの需要に応え、高品質で安定した衛星通信サービスの提供に努めてまいります。

以上

*「JCSAT-14」・・・「JCSAT-2A」の後継機として打ち上げられ、カバレッジ、収容能力ともに拡充しました。Kuバンドについては、日本及びアジア・太平洋地域を中心にカバーします。Cバンドについては、高出力トランスポンダで国際回線の収容能力を大幅に増強し、アジア、オセアニアのみならず、ロシアの可視範囲全域及び太平洋島嶼国をカバーします。